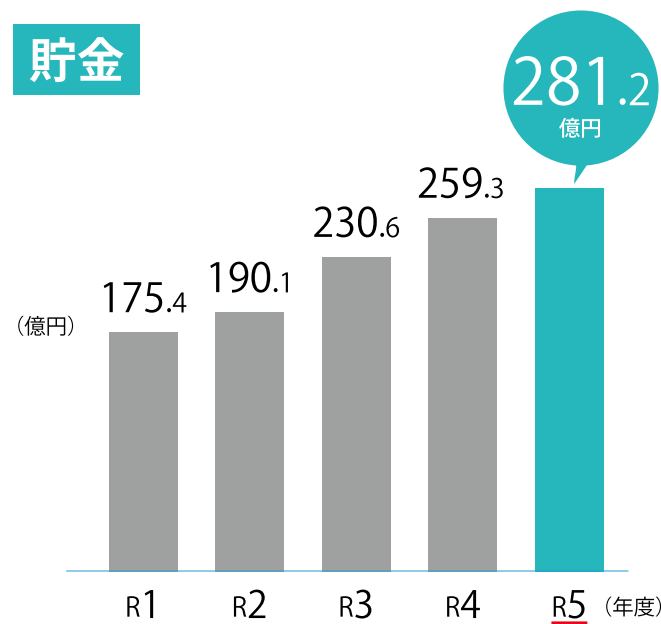


お金のやりくり 貯金と借金

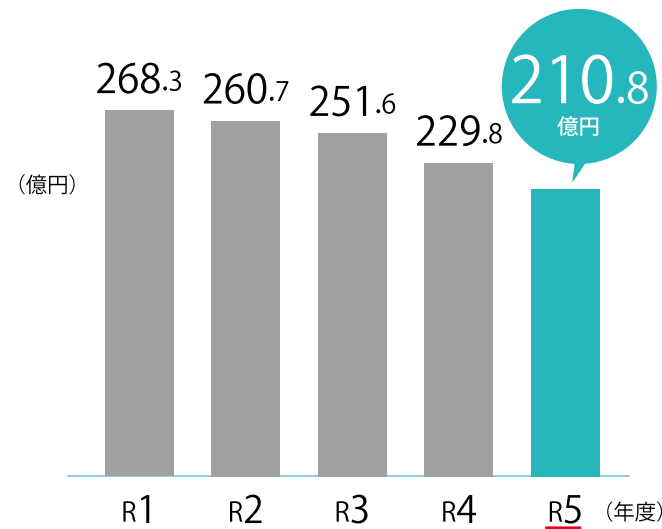
貯金と借金は、中期財政計画に取り組み目標を定めており、毎年度の決算状況を踏まえながら、将来を見据えた財政健全化に継続して努めています。

貯金



好調なふるさと納税寄附金の積立のほか、庁舎などの整備や後年度の大型施設整備に備えた公共施設等整備基金の積立などで、前年度から21.9億円増加し、281.2億円になりました。

借金

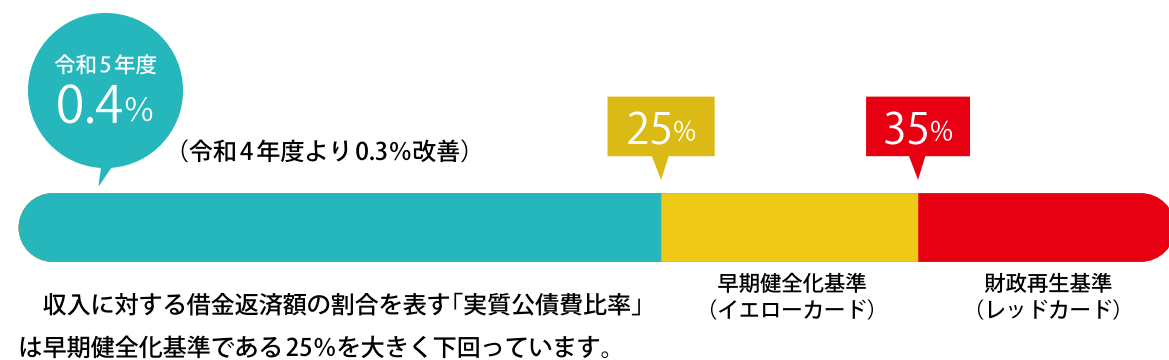


借金にあたる市債残高は、新規借入の抑制や借金の返済が進んだことにより、19億円減少し、210.8億円になりました。

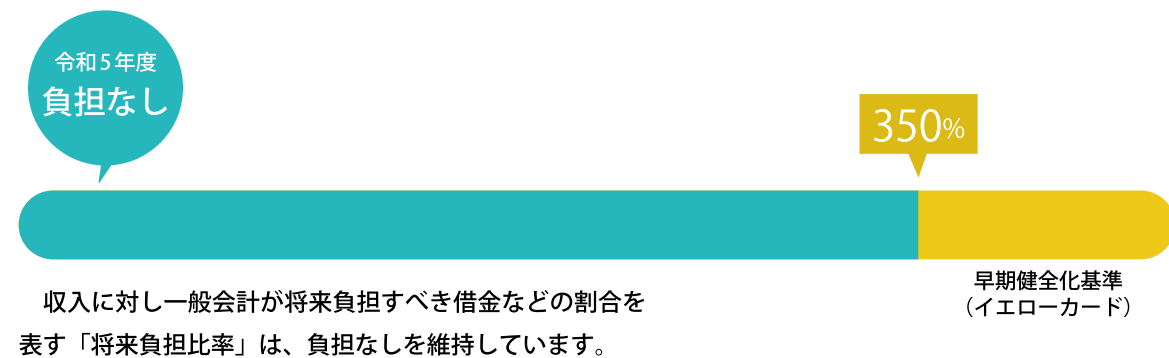
財政は健全です。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。

実質公債費比率



将来負担比率



収支は9.1億円の黒字¹⁾ (令和6年度への繰越額5.2億円を除く)

会計		歳入	歳出
普通会計	普通会計	454億951万3千円	439億8,134万5千円
	一般会計	453億9,155万9千円	439億6,369万円
	文化会館事業	7,627万9千円	7,598万円
公営事業会計	特別会計		
	国民健康保険	76億9,542万7千円	76億6,095万1千円
	後期高齢者医療	11億4,978万2千円	11億4,690万1千円
	介護認定審査会共同設置事業	3,149万円	3,149万円
	介護保険事業(保険事業勘定)	68億6,384万3千円	66億6,813万7千円
	介護保険事業(サービス事業勘定)	948万2千円	948万2千円

(普通会計間の取引経費は重複するため、控除して集計しています)

公営企業会計	収益	費用
病院事業会計	153億60万円	151億4,971万8千円
水道事業会計	16億3,853万円	15億1,155万1千円
下水道事業会計	19億7,097万2千円	19億3,235万8千円

POINT 1

景気回復による個人市民税や、分譲宅地開発による固定資産税の増加などで税収が増加しました。

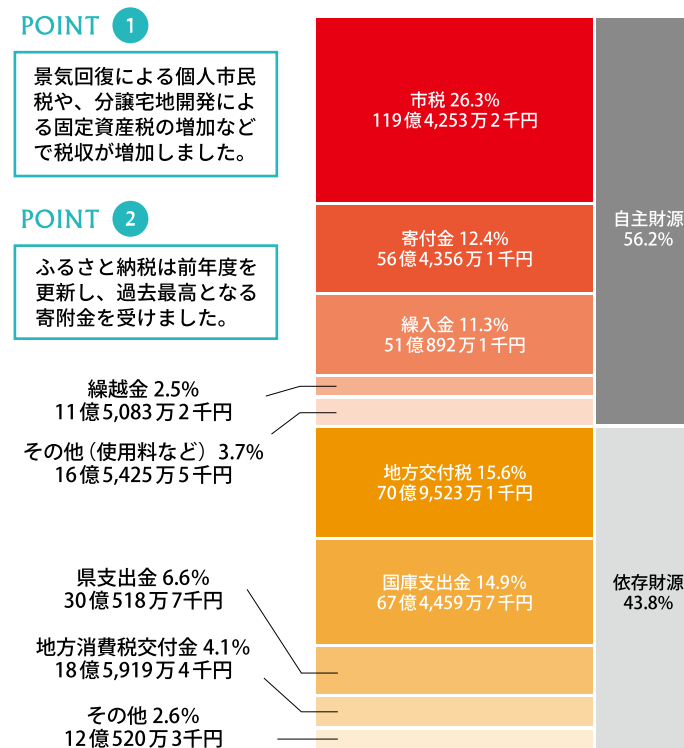
POINT 2

ふるさと納税は前年度を更新し、過去最高となる寄附金を受けました。

繰越金 2.5%
11億5,083万2千円
その他(使用料など) 3.7%
16億5,425万5千円

県支出金 6.6%
30億518万7千円
地方消費税交付金 4.1%
18億5,919万4千円
その他 2.6%
12億520万3千円

454億951万3千円 439億8,134万5千円



POINT 3

2025 国スポ・障スポ大会に向けた野球場改修などが本格化したことで、施設整備費が増加しました。

問 財政課 TEL (36) 5750・FAX (32) 3237

詳しい内容は市ホームページで HP 28285

決算は、9月の市議会第3回定例会に上程し、決算特別委員会で審議されたのち、12月の第4回定例会で認定予定です。

令和5年度決算

令和5年度は、『市民共感成長予算』と位置づけ、「子ども・子育て支援」、「活力ある地方創り」、「GX・DX推進」、「安心安全な生活基盤の強化」をキーワードに、バランスよく事業を実施しました。

1年間の成果

令和5年度もさまざまな事業を実施しました。
その一部をご紹介します。

子育て世帯の更なる負担軽減を

子ども医療費助成対象を拡充 2億7,071万6千円

子どもが平等に医療を受けられるよう、子どもの通院・入院に係る医療費の助成を行っています。令和5年度は助成対象を拡充し、高校生世代に対しても医療費の助成を行っています。



子どもたちの快適な学校生活のために

小・中学校の空調設備を整備 1億3,656万5千円
内ふるさと納税寄附金 1,465万4千円

市立小・中学校の図書室やコンピュータ室などの特別教室や保健室、職員室などの空調設備が設置から20年以上経過し老朽化していることから、小学校7校、中学校3校で空調設備の一斉更新を行いました。



安全・安心な公園の利用を続けるために

都市公園施設の長寿命化 5,933万6千円
内ふるさと納税寄附金 3,600万円

令和4年度に策定した公園施設の長寿命化計画に基づき、既存都市公園の長寿命化を行っています。令和5年度は、篠原公園トイレ施設などの更新を行いました。



アイコンの説明



「ふるさと納税寄附金活用事業」
全国の皆さんからいただいた、ふるさと納税寄附金を活用した事業

高齢者のQOLを高め健康寿命の延伸を

帯状疱疹の予防接種費用を助成 959万2千円
ふるさと納税寄附金 全額充当

帯状疱疹^{ほうしん}の発症率を低減し重症化を予防するため、50歳以上で接種を希望する市民に対し、県内初となる帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成を行いました。この助成は、令和6年度も引き続き実施しています。



もっと気軽に外出できるように

地域密着移動手段確保事業 578万2千円
ふるさと納税寄附金 全額充当

既存の公共交通機関に加えて新たな移動手段を構築し、交通弱者の外出機会の確保や地域コミュニティの形成を図るため、島学区・沖島学区・安土学区のまちづくり協議会と連携し、互助輸送の実証実験を行いました。3学区の互助輸送は、令和6年4月から本格的に運行されています。



来庁者の手続き時の負担を軽減

書かない窓口を開始 2,728万3千円
内ふるさと納税寄附金 1,366万5千円

異動受付支援システムを導入し、来庁者が持参した転出証明書や在留カードなどの文字を読み込み、機械に自動入力することで、来庁者の申請書類への記入の負担を軽減し、窓口サービスの向上を図りました。



エネルギー・食料品などの物価高騰対策

市内の店舗で利用できる

家計応援商品券を配布 2億9,771万3千円

市民に対し、市内の店舗などで利用できる商品券を一人当たり3,000円分（就労による収入増が困難な75歳以上の高齢者にはさらに3,000円分を上乗せ）を配布しました。



保護者の負担を軽減する

給食費の値上げ分を負担 3,038万6千円

学校給食の食材費が高騰していることから給食費の値上げを実施しましたが、保護者負担の軽減を図るため、値上げ分を市が負担しました。



物価高騰の影響を受けているさまざまな施設や、市民の皆さんの負担軽減のため、支援を行いました。

子ども・福祉施設に応援金を支給しました

事業所の安定的な運営の支援や、各施設を必要とする利用者の安定した生活を守ることを目的に、さまざまな応援金の支給を行いました。

民間保育所、認定こども園に

2,539万6千円



障がい福祉サービス事業所に

439万6千円



介護サービス事業所に

1,511万6千円

